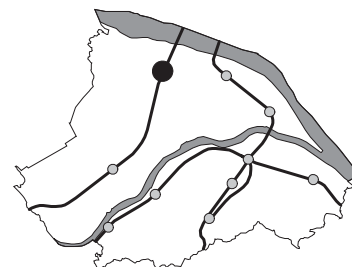


IV-3 駅周辺まちづくり基本計画

日野駅



現況と課題

日野駅に求められているもの

- 日野駅は、日野を訪れる人が最初に目にする「日野の玄関口」としての役割を担っています。また、都心に通勤通学する人々が「帰ってきた」と感じる場所でもあります。
- しかし、駅や駅周辺の雰囲気は暗く、駅前広場には人々がくつろげる空間がありません。また、駅自体にも「狭い」「バリアフリー化されていない」「アクセスしにくい」などの声が出されています。
- もっと利用しやすく、日野らしさを演出できる日野駅にするために、今ある個性的な駅舎を大切にしながら駅の改良を行い、周辺の崖線の緑を感じられる「杜の駅」などの個性ある日野駅づくりを進めていきたいと思います。
- また、駅周辺をゆとりある空間につくりあげ、日野にふさわしい景観をつくとともに、にぎわいと安らぎのある場にしていくことが求められています。

日野駅前の商店街に求められているもの

- 日野駅は立川駅と八王子駅に挟まれています。日野駅には大型店舗がなく、駅周辺の商店街にはあまり活気がありません。
- 日野駅周辺の商店街は、立川や八王子とは異なり、住んでいる人々の生活に密着した商業を中心とし、対面販売ができるような商店街として活性化をすすめることが求められています。

日野駅を利用する人々が求めていること

- 日野駅は住んでいる人だけでなく、日野に通勤通学する人々も利用しています。誰もが駅を快適に利用できるようにするために、みんなで駅周辺について考え、駅を育てていくことのできる環境づくりが求められています。

IV-3 駅周辺まちづくり基本計画

将来像

- 1 崖線の緑を感じられる「杜の駅」や、にぎわいとやすらぎのある駅前を利用し日野に住んでいる安堵感を得られる暮らし
- 2 ぶらりと歩きたくなるような、便利でにぎわいのある駅前商店街のある暮らし
- 3 利用している駅について、思っていることや考えていることを言える場のある暮らし

1

崖線の緑を感じられる「杜の駅」や、にぎわいとやすらぎのある駅前を利用し日野に住んでいる安堵感を得られる暮らし

■将来像を実現するための方針■

日野駅を「日野の玄関」として育て、駅周辺をにぎわいとやすらぎのある場にしよう

■プロジェクト■

【駅前の景観づくりプロジェクト】

- ・日野緑地や用水を生かした景観づくり
- ・用水の開渠化による親水空間の整備
- ・看板類の規制

【杜の駅プロジェクト】

- ・駅舎の特長と駅からの景観を大切にした駅改良
- ・「杜の駅」づくり
(イメージカラーやデザインの統一・「杜の広場」の整備)
- ・人が休める、待ち合わせができる空間づくり
- ・多摩川までの緑豊かな散歩道の整備
- ・駅を拠点とした回遊ルートの整備
(デザインの統一・案内板の設置)

【駅前広場づくりプロジェクト】

- ・駅前広場をもてなしの空間として再生
(シンボルツリーの植樹・花の植栽・ベンチの設置・ストリートファニチュアの設置・街路灯の整備・車両の進入を制限・立体化による車両と人との分離・バリアフリー化)
- ・イベント広場としての整備とイベントの開催
(朝市・フリーマーケット・楽器演奏・昔話を聞く)

2

ぶらりと歩きたくなるような、
便利でにぎわいのある駅前商店街のある暮らし

■将来像を実現するための方針■

駅へのアクセスについての
ルールをつくり、誰にとっても
利用しやすい駅にしよう

■プロジェクト■

【使いやすい駅づくりプロジェクト】

- ・ホームの増設や既存プラットホームの拡幅
- ・エレベーター・エスカレーターの設置
- ・ホーム上の雨風避けのための場づくり（冷暖房完備の休憩室の設置・防風壁の設置）
- ・改札口の新設や移設
- ・駅の高架化による駐車・駐輪場、イベント広場、フリースペースの確保
- ・雰囲気明るくするための工夫

【利用しやすい駅周辺づくりプロジェクト】

- ・タクシー乗り場を西側に一本化
- ・日3・5・16号線の歩行者優先空間の創出
- ・東西をつなぐ自由通路の整備
- ・歩道の拡幅による歩行者の安全性の確保
- ・バリアフリー化の推進（歩車道の段差の解消等）
- ・国道20号を安全に横断するための工夫
- ・駅周辺における車利用の制限（パークアンドライド・駅周辺での一時停車用のスペースの確保）
- ・駐輪場の整備とレンタサイクルシステムの確立
- ・JR・京王線・モノレール各駅を結ぶバス路線整備
- ・日3・4・17号線の整備（日野駅から立川方面への自動車交通利便性の向上）
- ・日3・4・8号線の整備（甲州街道の通過交通の排除と東西連絡性の向上）
- ・駐車場の整備（区画整理事業区域内・市役所通り）
- ・パーキングメーターの設置（日野駅前通り）
- ・一方通行等の交通規制
- ・音声表示システム（信号機の音声表示化）の設置

IV-3 駅周辺まちづくり基本計画

■将来像を実現するための方針■

日野駅を交流拠点とし、対面販売のある商店街として活性化させよう

■プロジェクト■

【交流拠点づくりプロジェクト】

- ・市役所の窓口の設置
- ・図書館の分室の設置
- ・市民が自由に活動できる多目的施設の整備
- ・公共施設、文化施設、娯楽施設等の整備
- ・福祉等のサービスに重点を置いた施設の整備

【商店街の魅力化プロジェクト】

- ・対面販売のできる歩行者空間の整備
- ・小売店の特徴づくり
(地元野菜販売等、地場産業を生かした商店づくり)
(若い世代にとって魅力ある小売店づくり)
- ・若者による店舗経営に対する支援
- ・インターネットの活用
- ・ベンチャー※のためのスペースの提供と誘致

【利用しやすい商店街づくりプロジェクト】

- ・アーケードを備えた放射状の商店街整備
商店街への車の進入禁止
歩いて買い物のできる歩道の整備
- ・駅と商店街の連携の強化（掃除・花）
- ・電動カーの利用

3

利用している駅について、 思っていることや考えていることを言える場のある暮らし

■将来像を実現するための方針■

みんなで駅周辺や商店街のあり方について考えよう

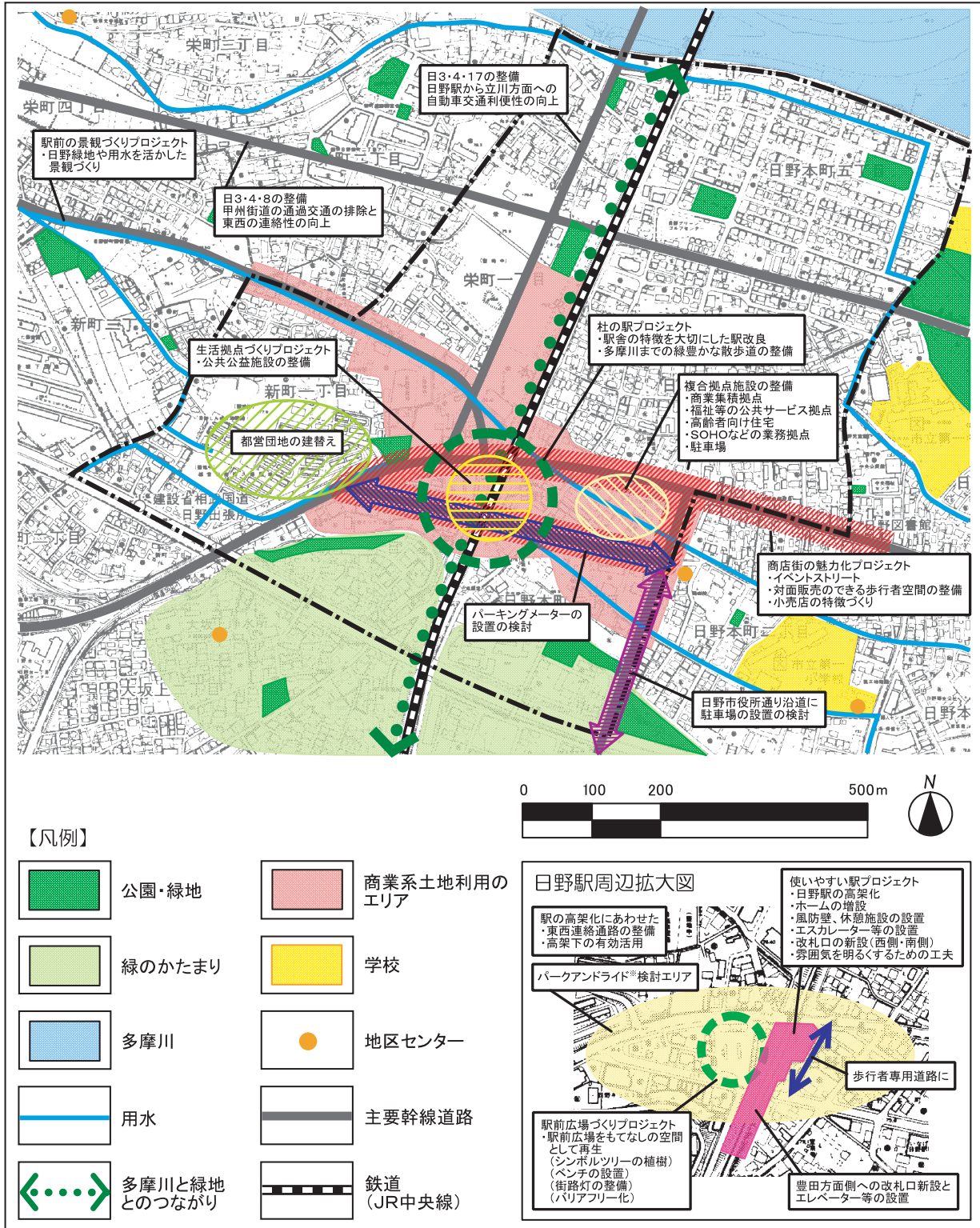
■プロジェクト■

【みんなで考えるプロジェクト】

- ・日野駅のあり方に対するイメージの共有化
- ・駅前広場のあり方を考える場・組織づくり
(高齢者・障害を持つ方々との交流)
(商店街活性化のために中・高・大生の意見を聞く)
(市民によるJRとの交渉)

※ベンチャー

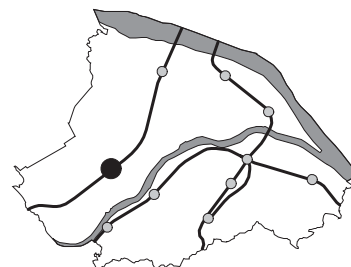
日野駅周辺のまちづくり構想図



※パークアンドライド

IV-3 駅周辺まちづくり基本計画

豊田駅



現況と課題

豊田駅に求められているもの

- 豊田駅北口のロータリーには、タクシー待機場所やバス停があるため、常に混雑しています。自家用車利用のあり方をふまえながら、駅前ロータリーのあり方を検討し、駅ロータリーの利用に関して新しいルールをつくることが求められています。
- また、駅北口周辺の歩道には、路上駐輪やみ出し商品などが氾濫しており、ゆっくり周りを楽しみながら歩くことができません。安心して歩ける環境を取り戻すために、自転車の利用方法も含めた新しいルールづくりが必要とされています。
- 豊田駅北口には、「光の家」「つばさ学園」や市立病院などの医療・福祉施設があり、多くの体の不自由な方々が駅を利用しています。しかし、豊田駅へのアプローチには階段しかなく、また、駅周辺から福祉施設や医療施設までへの道路にも段差などがあり、これらの施設を利用する方々にとって使いづらい駅周辺になっています。
- 誰もが使いやすいと感じられるような駅や駅周辺の環境づくりが求められています。

豊田駅周辺の商店街に求められているもの

- 豊田駅北口では、多摩平団地の建替えが進められています。それに伴い人口が増加し、駅周辺も活気が増すことが期待されています。
- しかし、駅周辺には、生活に不可欠な公共公益施設の整備が充分ではなく、商店街もゆっくり楽しめる環境であるとは言えません。
- 北口では、駅前を高度利用化し、公共公益施設を整備するとともに、飲食系の店舗やアミューズメント性のある店舗を充実させた商店街をつくりあげることによって、他の拠点とは異なる個性的な駅周辺づくりが求められています。
- 一方、南口は基盤整備が十分ではなく、まとまった商店街がありません。南口では「徒歩」や「自転車」利用を基本としたまちづくりをすすめ、大型店舗と既存の小売店の共存した魅力ある駅前商業地づくりを推進し、親しみの残る商店街づくりが求められています。

豊田駅を利用する人々が求めていること

- 豊田駅周辺には、福祉・医療施設があり、体の不自由な方々が駅を利用しています。しかし、駅周辺のバリアフリー化が十分にされているとは言えません。
- これらの問題点を解決するだけでなく、駅や駅周辺に求められているニーズを把握するための機会づくりや、みんなで協働してまちをつくっていく機運づくりが求められています。

将来像

1 誰もが気軽に駅にアクセスでき、また、
ゆっくり周りを楽しみながら駅周辺を歩くことのできる暮らし

2 誰もが使いやすいと感じられるような駅周辺を
みんなでつくりあげていくことができる暮らし

3 魅力的で親しみやすい商店街や市民の活動拠点が整い、
誰もが自分の居場所があると感じられる駅前のある暮らし

1 誰もが気軽に駅にアクセスでき、また、
ゆっくり周りを楽しみながら駅周辺を歩くことのできる暮らし

■将来像を実現するための方針■

誰もが安心して利用できるように、歩行者に配慮した駅周辺のルールを考えよう

■プロジェクト■

【歩いて楽しめる駅づくりプロジェクト】

- ・湧水の保全と豊田用水の保全・整備
- ・車の進入禁止（北口交差点からロータリー）
- ・ロータリーへの自家用車の乗り入れ制限
- ・車の進入の時間規制（ファミリーユ京王の裏側）
- ・ロータリーでのタクシー待機台数の制限
- ・タクシー乗り場として第二ロータリーの整備
- ・ロータリーの外側にバス用乗降スペースの確保
- ・北側交差点の北側、郵便局周辺の公団用地の有効活用
- ・駅から離れたところに大規模低料金駐車場の整備
- ・駅前広場の拡張整備と公共駐車場・駐輪場の整備

【使いやすい北口駅前づくりプロジェクト】

- ・北口ロータリーの拡大
- ・豊田駅舎の屋上を活用した駅前広場の拡大
- ・アーケードの延長と停車可能部分の拡大
- ・立体ロータリーの整備による歩車の分離
- ・銀行の駐車場の休日一般開放
- ・パーキングメーターの撤去または移設
- ・違法駐車を取り締まり強化（ボランティア等の活用）

【南口駅前づくりプロジェクト】

- ・日3・4・19号線、日3・4・15号線の整備促進
- ・南口駅前広場の整備
- ・南口駅前広場を起点とするバスルートの整備
- ・豊田駅南口駅前通りの全面駐車禁止
- ・南口ロータリー内でのタクシー待機台数の制限

IV-3 駅周辺まちづくり基本計画

■将来像を実現するための方針■

放置自転車やはみ出し商品を規制し、安心して歩ける駅前にしよう

■プロジェクト■

【安心して歩ける駅前づくりプロジェクト】

- ・道路占用の取り締まりの強化
(商店会による取り締まりチームの結成)
(市民ボランティア制度の確立)
- ・路上駐輪の取締りの強化 (ボランティアの活用)
- ・自転車の乗り入れ規制
- ・駐輪場の整備 (無料または低料金・公共・立体)
- ・駐輪場利用促進のための商店会による共通券の発行
- ・レンタサイクル制度の確立

2

誰もが使いやすいと感じられるような駅周辺を みんなでつくりあげていくことができる暮らし

■将来像を実現するための方針■

誰にとってもやさしい駅周辺づくりをすすめよう

■プロジェクト■

【バリアフリー化プロジェクト】

- ・歩道の拡幅とバリアフリー化 (市立病院等へのアクセス道路を優先) の推進
- ・粗面に改良、電線の地中化
- ・弱者優先スペースの設置 (カラーリング等)
- ・「特定経路※」の指定、音の鳴る交差点の整備
- ・駅舎内自由通路のバリアフリー化 (エレベーター・エスカレーター・スロープの設置) の推進と駅舎の整備
- ・実情を把握するための機会づくりとNPOの育成
- ・市民による手助けの推進

※特定経路

3

魅力的で親しみやすい商店街や市民の活動拠点が整い、
誰もが自分の居場所があると感じられる駅前のある暮らし

■将来像を実現するための方針■

多摩平団地の建替え等を契機とし、人が集まる利便性の良い駅周辺づくりをすすめよう

■プロジェクト■

【活動拠点づくりプロジェクト】

- ・駅周辺の高度利用による公共公益施設の整備
(市民活動の拠点：コミュニティセンター・会議室)、憩いの場、SOHOスペース、市役所窓口、交番)
- ・民間活力による介護施設のための施設の整備
- ・交流拠点の整備
- ・駅のあり方を考えるための組織づくり
- ・緑豊かな自然環境特性と連携した公共公益施設整備（下水処理場跡地）
- ・多摩平緑地通りの歩道拡幅整備

【もてなしの空間づくりプロジェクト】

- ・緑を増やしたもてなしの空間づくり
- ・地域の緑の核を結ぶ緑のネットワーク
- ・既存の緑の保全・活用
- ・日野緑地（斜面緑地）の連続性の確保
- ・にぎわいと交流軸としてのシンボル通りの景観整備
- ・街灯のデザインの検討
- ・看板類の規制

■将来像を実現するための方針■

誰もが利用しやすい商店街周辺の整備をすすめ、地元商店街の活性化につなげよう

■プロジェクト■

【北口商店街魅力化プロジェクト】

- ・商業・業務・文化施設複合ゾーンを持った駅前拠点の形成
- ・工場等への通勤者を巻き込んだ商店街の活性化（飲食系の充実・アミューズメント系店舗の誘致）
- ・北口ロータリーの歩行者天国化とイベントの開催（イベントスペース等の整備）
- ・既存の沿道型商店街の再整備

【親しみのある南口商店街づくりプロジェクト】

- ・「徒歩」「自転車」利用のまちづくりの推進
- ・乗り物の速度を制限させる道路づくり
- ・南口商店街をシンボルロードとして整備
(日用品の商店モール・電線の地中化など)
- ・核となる店舗の誘致と、共存するための小売店の魅力づくり
- ・商店の連携強化
- ・地元商店事業者と地域住民との協力体制づくり

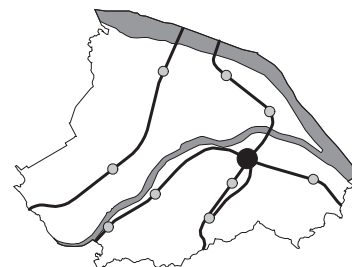
【南口複合的商業地づくりプロジェクト】

- ・民間活力の導入により、既存商店街と共存できる大型商業施設の誘致等、計画的な商業地の整備
- ・若者・家族が集まる複合的な商業の誘致

【南北をつなげようプロジェクト】

- ・南北の一体化（駅以外の南北連絡通路の整備）

高幡不動駅



現況と課題

高幡不動駅に求められているもの

- 高幡不動駅は、京王線とモノレールが交差する駅であり、日野市の三大拠点（交流拠点）の一つとなっています。また、地域住民だけでなく、高幡不動尊の参拝客や多摩動物公園等への観光客、モノレール沿線にある大学に通う学生たちなど、多様な世代の人が集まる交通の要衝になっています。
- 現在、駅前広場と歩きやすい歩行空間は整備されましたが、高幡不動参道が参拝客や通過交通で混雑していることなど、駅周辺には、まだ課題が残されています。
- 地域住民や駅を利用する人々が使いやすいと感じられるように駅周辺での車利用のルールづくりや、駐輪問題の解決が求められています。

高幡不動駅前の商店街（参道）に求められているもの

- 高幡不動尊駅周辺には、高幡不動尊があります。また、モノレールや京王線沿線には大学等があり、若い世代が集まる拠点としての役割も持ち始めてきました。
- さまざまな世代が集まってくる拠点として、高幡不動尊とのつながりを大切にした駅前づくりや、若者にとって魅力ある駅前づくりをすすめることが求められています。また、集まってくる人々が居心地が良いと感じられるような駅周辺の居場所づくりも必要とされています。

将来像

1

さまざまな世代が集まりにぎわいのある駅周辺を、車利用の人も歩行者も気持ちよく利用できる暮らし

2

さまざまな世代が楽しめる駅周辺を生活拠点として気軽に利用できる暮らし

序章	第I章	第II章	第III章	第IV章	第V章	第VI章
----	-----	------	-------	------	-----	------

全体構想

IV-3 駅周辺まちづくり基本計画

1

さまざまな世代が集まりにぎわいのある駅周辺を、
車利用の人も歩行者も気持ちよく利用できる暮らし

■将来像を実現するための方針■

誰もが使いやすい駅周辺
での車のルールをつくら
う

■プロジェクト■

【車利用のルールづくりプロジェクト】

- ・一般車の乗降スペースの確保
- ・駅周辺に有料駐車場の整備
- ・銀行等の駐車場の休日一般開放
- ・路上駐車 of 許可（時間制限付き）と規制の強化
- ・ロータリーへの一般車両（自転車含む）の進入禁止（パークアンドライド）
- ・観光自家用車の制限と駐車場・シャトルバスの整備

■将来像を実現するための方針■

駅周辺での駐輪問題を解
決し、歩きやすい駅前に
しよう

■プロジェクト■

【自転車のルールづくりプロジェクト】

- ・駐輪場の整備（京王線各駅・モノレール下・浅川沿いの歩行者自転車専用道につながる場所・駅前地下）
- ・駐輪場設置の義務付け
- ・駐輪場の有料・無料化の検討
- ・レンタサイクル制度の確立
- ・市民ボランティアによる違法駐輪の取締り
- ・撤去料の値上げ等による違法駐輪の取締り強化
- ・市民モラルの向上のための啓発運動

2

さまざまな世代が楽しめる駅周辺を
生活の中心として気軽に利用できる暮らし

■将来像を実現するための方針■

高幡不動尊とのつながりを大切にしたい駅前づくりをすすめよう

■プロジェクト■

【高幡不動を活かした駅前づくりプロジェクト】

- ・高幡不動参道の整備
(歩行者優先道路化・電線類の地中化・植樹・街灯の整備)
- ・特別用途地区や地区計画等を活用した高幡不動参道の歴史的な街並みの形成
- ・参拝客をターゲットにした魅力ある商店街の形成（気軽に休める喫茶店等の整備）
- ・まちづくり（景観）条例の制定
- ・高幡不動の行事と一体となったイベントの開催

■将来像を実現するための方針■

若い世代にも魅力ある駅前商店街をつくり、多摩全域から人が集まる高幡不動駅前づくりをすすめよう

■プロジェクト■

【人が集まる駅前づくりプロジェクト】

- ・駅横にある地下道の歩行者専用化
- ・歩道の拡幅（京王線高幡不動駅から高幡不動尊まで）
- ・駅前広場における歩車分離
- ・南口の駅前広場の整備とバリアフリー化（待ち合わせ場所・休憩所・モニュメント等）
- ・北口駅前広場の整備
- ・デザインの統一（街灯・街路樹・看板・商店街のイメージカラー）
- ・駅前に案内板の設置
- ・農産物直売所の設置
- ・高幡不動駅北口から浅川までのレクリエーションネットワークの整備

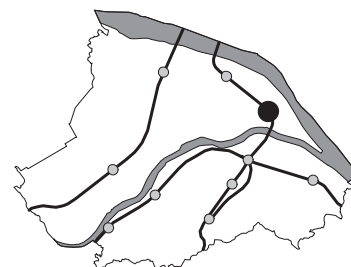
【若者にとって魅力ある駅前づくりプロジェクト】

- ・FM局等の開設と学生への開放
- ・京王線高幡駅からモノレール駅までを若者中心エリアとして整備

【地域の拠点づくりプロジェクト】

- ・地域の交流・まちづくりの拠点づくり（コミュニティセンター・図書館・集会所・郵便局・市役所窓口等）
- ・多摩地域の拠点としての位置づけ（産学共同用施設・SOHOのための場・情報発信地）

万願寺駅



現況と課題

万願寺駅に求められているもの

- モノレール万願寺駅周辺にはスーパーマーケット等が集積し始め、生活拠点としての役割を担いつつあります。
- また、駅周辺の自然・歴史資源を活用し、地域外の人たちも集まってくるような駅にするために、魅力あるこだわりの店を集め、地域のもてなしの空間として育てていくことが求められています。
- 一方で、万願寺駅周辺から日野・豊田方面へのアクセスが悪く不便を感じることもあるため、誰もがまちなかに簡単に出入れる交通システムを改善する必要があります。

将来像

モノレール万願寺駅をもてなしの空間のある生活の拠点とし、簡単にアクセスできる暮らし

■将来像を実現するための方針■

モノレール駅を中心に、
地域のもてなしの空間を
つくろう

■プロジェクト■

【もてなしの空間づくりプロジェクト】

- ・モノレール沿線の緑化
- ・駅舎内にベンチや案内板の設置
- ・モノレール駅を拠点としたサイクリングロードの整備
- ・レンタサイクルシステムの整備
- ・魅力あるお店や文化施設の集積
- ・小型商店を支える仕組みの検討
- ・駅周辺でのフリーマーケットの開催や農産物販売

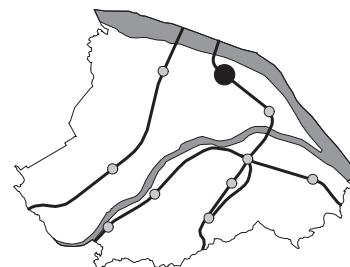
気軽にまちなかに出かけ
られる交通システムをつ
くろう

【アクセス改善プロジェクト】

- ・駐輪場の整備（緑で覆う）
- ・日野・豊田方面へのバス路線の整備
- ・高齢者が多く住むところに、優先的にバス停を設置

IV-3 駅周辺まちづくり基本計画

甲州街道駅



現況と課題

甲州街道駅に求められているもの

- モノレール甲州街道駅周辺は、今後人口の増加が見込まれています。そのため、人口増に対応できる利便性の良い駅周辺づくりをすすめていく必要があります。
- また、立川方面からモノレールを利用し日野を訪れる人々が最初に目にする駅であり、名前が持つ「宿場町」のイメージや日野の誇りである「農」に触れられる拠点としての駅づくりが求められています。

将来像

名前が持つ「宿場町の駅」というイメージを大切にしたい駅のある暮らし

■将来像を実現するための方針■

モノレール甲州街道駅を地域の財産として育てよう

■プロジェクト■

【モノレール活性化プロジェクト】

- ・歩行者環境のバリアフリー化
- ・レンタサイクルシステムの整備
- ・駐輪場の整備（緑で覆う）
- ・タクシー乗り場の整備
- ・日野・豊田方面へのバス路線の整備
- ・駅前に身近な生活関連の店舗の誘致

■将来像を実現するための方針■

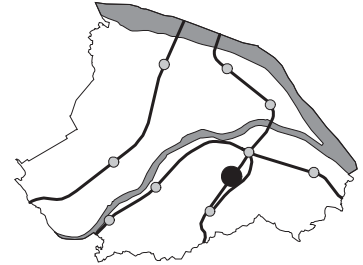
「日野に触れられる駅」
「日野を感じられる駅」にしよう

■プロジェクト■

【日野を感じようプロジェクト】

- ・甲州街道駅から万願寺駅までを観光街道として整備（もてなしの空間づくり）
- ・朝市やフリーマーケットの開催
- ・地場の農産物の直売所の設置
- ・生産→加工→販売が体験できるような場づくり

程久保駅



現況と課題

程久保駅に求められているもの

- モノレールは程久保川沿いを走り、程久保駅は高幡不動尊と多摩動物公園の中間に位置しています。
- また、程久保駅周辺は、住宅地としてすでに開発がすすめられており、通勤通学のための駅としての役割を担っています。
- 程久保駅周辺には、程久保川沿いに空地があります。この空間を活かし、地域住民にとってだけでなく、来訪者にとっても魅力ある駅づくりをすすめていかなければなりません。

将来像

程久保駅前にある空地と程久保川が一体となった、
居心地の良い空間を誰もが楽しめる暮らし

■将来像を実現するための方針■

駅前の空間を活かし、高幡不動駅と多摩動物公園駅をつなぐ拠点となる駅周辺づくりをすすめよう

■プロジェクト■

【「絵画のある駅」プロジェクト】

- ・京王多摩動物園線の擁壁に絵を描く（学生等の表現の場）
- ・絵画を楽しめる空間としての木陰づくり

【イベントモールづくりプロジェクト】

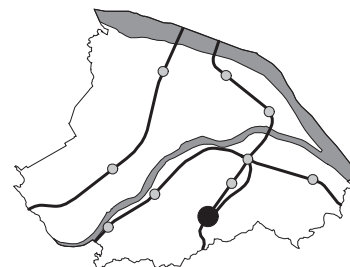
- ・程久保川沿いをイベントモールとして整備（高幡不動駅～多摩動物公園駅）
- ・イベントの開催

【駅前空間活用プロジェクト】

- ・駅前の残地を活用したみんなが楽しめる駅前空間の整備
- ・レンタサイクル制度の確立
- ・駐輪場の整備（緑で覆う）

IV-3 駅周辺まちづくり基本計画

多摩動物公園駅



現況と課題

多摩動物公園駅に求められているもの

- 多摩動物公園駅は京王線とモノレールの2つの駅があり、動物園の玄関口としての役割を担っています。
- モノレール駅から眺める京王線駅は、緑の中に埋もれ、懐かしさを感じさせる趣を持っています。
その趣を絶やさないように、京王線多摩動物公園駅を「ふるさとの駅」として大切に守り育てていかなければなりません。
- 一方、新しく開通したモノレールは、その新しさを活かした子どもたちに夢を与えることのできる空間づくりが求められています。

将来像

多摩動物公園や多摩丘陵を訪れる人々が
また来たくなるような駅周辺のある暮らし

■将来像を実現するための方針■

多摩動物公園を訪れる来訪者を意識した「ふるさとの駅」づくりをすすめよう

■プロジェクト■

【玄関口づくりプロジェクト】

- ・沿道の景観誘導
- ・来訪者を意識したデザイン誘導
- ・レンタサイクルシステムの確立
- ・観光客が家族でくつろげるスペースの整備
- ・レストラン等の飲食店の充実

■将来像を実現するための方針■

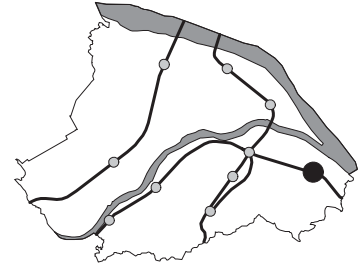
モノレールの新しさを活かし、子どもたちに夢を与えられる場所をつくろう

■プロジェクト■

【夢のある空間づくりプロジェクト】

- ・動物園・温泉・多摩テックを結ぶトロコ電車の運行
- ・「緑の中の駅」づくり
(桜のじゅうたんの上を走る、緑の木々の上を走る)

百草園駅



現況と課題

百草園駅に求められているもの

- 京王線百草園駅周辺には、百草園があります。百草園駅の活性化を図るためにも、百草園を活かした駅づくりをすすめ、駅周辺をレクリエーション拠点として整備することが求められています。
- 一方、生活者にとっては、駅周辺に、広場や公共施設が少ないため、その整備が求められています。

将来像

日野内外から百草園に訪れる人々を迎えることができ、
その一方で、日常生活に必要なことを駅周辺で済ませられる暮らし

■将来像を実現するための方針■

百草園駅周辺をレクリエーション拠点として整備していこう

■プロジェクト■

【百草園駅魅力化プロジェクト】

- ・街路樹や街路灯の整備
- ・景観を損なわない素材を使用した透水性の高い舗装、共同溝、歩道の整備
- ・駅前での屋根のある待合スペースの確保
- ・緑陰やおもしろい店がある楽しい道づくり
- ・駅付近の駐車場を起点とした散策路の整備

【百草園を活かそうプロジェクト】

- ・駅舎のデザインの工夫
- ・梅をアクセスルートに配置
- ・アクセスルートの拡幅整備
- ・サイン、デザインの統一

【バリアフリー化プロジェクト】

- ・駅のバリアフリー化

■将来像を実現するための方針■

公共施設や公共サービスを充実させ、日々の買物が身近で済ませられる環境をつくろう

■プロジェクト■

【交通基盤改善プロジェクト】

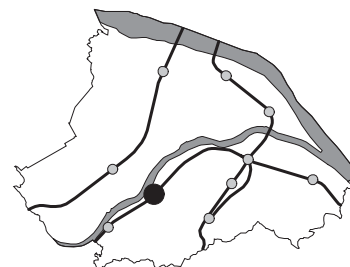
- ・京王線北側に川崎街道と並行する生活幹線道路の整備
- ・公共交通機関（ミニバス等）の充実

【商店街活性化プロジェクト】

- ・楽しく清潔な道路づくり
- ・駅前にコミュニティ広場としての施設を多くとりいれた開発の誘導
- ・IT関連政策とあわせた公共機能の整備
- ・いろいろな世代の人の声を集める仕掛けづくり
- ・商店街に「農」「介護」「子育て」等と結んだ活性策を計画

IV-3 駅周辺まちづくり基本計画

南平駅



現況と課題

南平駅に求められているもの

- 南平駅は、多摩テックや浅川に近く、豊田駅から多摩動物公園へと伸びる散策路の経由地点となっています。
- しかし、駅前広場がなく、駅周辺の道路環境も良くないため、駅利用者や歩行者がゆっくりと歩いたり、くつろいだりする場所がありません。
- そのため、人が集うことのできる場の整備と浅川や多摩丘陵を活かしたネットワークの整備が求められています。
- 一方、生活者にとっては、駅近くの幹線道路沿いに大型小売店舗が立地しているため、商店街も活性化しつつあります。さらに、生活拠点として利便性の高い商店街の充実化が求められています。

将来像

浅川と多摩丘陵に挟まれた地形を十分に楽しむことができ、
駅周辺で日常生活に必要なことを済ませることができる暮らし

■将来像を実現するための方針■

地域の生活拠点として、
使いやすい駅周辺をつく
っていかう

■プロジェクト■

【生活拠点づくりプロジェクト】

- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインの視点を含む施設計画づくり
- ・地域住民のニーズにあった個性的な商店街づくり
- ・生活に必要な機能を持ったコミュニティセンターの整備
- ・IT基盤の整備（企業協力によるインターネット等の導入）
- ・駅周辺の交通規制の検討（一方通行等）

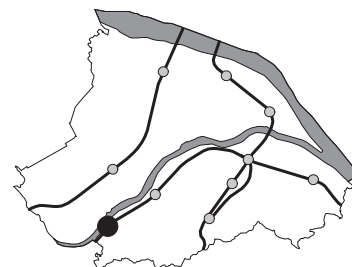
【ネットワークづくりプロジェクト】

- ・南平駅と浅川をつなぐ歩行者・自転車専用道の整備
- ・豊田～南平、南平～多摩動物公園のハイキングコースの整備
- ・浅川左岸に渡れる（仮称）豊南橋の整備
- ・レンタサイクル制度の確立
- ・駐輪場の設置

【人のたまり場づくりプロジェクト】

- ・南口駅前へみんなが楽しめる場の整備（人のたまり場づくり、緑のスポットづくり）

平山城址公園駅



現況と課題

平山城址公園駅に求められているもの

- 平山城址公園駅は、地域の生活拠点としての役割を担っています。また、平山城址公園に通じる駅であり、市内の散策コースの拠点にもなっています。
- また、平山城址公園駅は、浅川左岸の人々にも利用されています。誰もがアクセスしやすい環境を整えていかなければなりません。

将来像

歩行者を重視した静かで穏やかな環境があり、歩いているうちに日常生活に必要なことを済ませることのできる暮らし

■将来像を実現するための方針■

地域の生活やレクリエーションの拠点として、使いやすい駅周辺をつくっていかう

■プロジェクト■

【生活拠点づくりプロジェクト】

- ・平山土地区画整理事業の推進
- ・駅東側に生活幹線道路を整備
- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインを視点を含む施設計画づくり
- ・地域住民のニーズにあった個性的な商店街づくり
- ・生活に必要な機能を持ったコミュニティセンターの整備
- ・IT基盤整備（企業協力によるインターネット等の導入）

【歩いて行ける駅づくりプロジェクト】

- ・平山城址公園駅と浅川をつなぐ歩行者・自転車専用道路の整備
- ・北側（左岸）との連絡（東側の区画整理との一体化）
- ・南側ハイキングコースとのネットワークづくり（ルートの位置づけと整備）
- ・駐輪場の設置
- ・レンタサイクルのシステムづくり